12/1 2023(R5) No. 127

袖ケ浦市

しいの未は袖ヶ浦の木です

発行/袖ケ浦市PTA連絡協議会

編集/袖ケ浦市P連広報

☎0438-62-3139(代表)

PTA活動のあり方 ※

~子供たちの未来のため、笑顔のために~

運動会開催! P2、3

市内小学校の様子をお届けします!



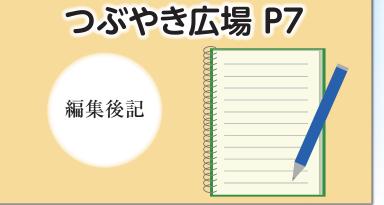


市P連教育懇談会 P4







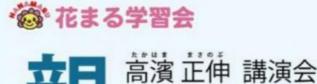








市PTA連絡協議会 教育懇談会



親だからできること

2023 **8.27**(日) 10:30~

~安心して子育てをするために~



花まる学習会代表 NPO法人子育て応援隊むぎぐみ理事長 空家 正価

高濱 正伸 たかはま まさのぶ









1959年熊本県人吉市生まれ。 県立熊本高校卒業後、東京大学へ入学。 東京大学農学部卒、同大学院農学系研究科修士課程修了。 1993年「花まる学習会」を設立、会員数は23年目で20,000人を超す。

花まる学習会代表、NPO法人子育て応援隊むぎぐみ理事長。算数オリンピック作問委員。日本 棋院理事。

ニュース共有サービス「NewsPicks」のプロピッカー。 武蔵野美術大学客員教授。環太平洋大学 (IPU) 特任教授。

「情熱大陸」などTV出演多数。

令和5年度 袖ケ浦市PTA連絡協議会 教育懇談会が8月27日(日)オンラインで開催されました。 花まる学習会代表、高濱正伸先生を講師に迎え「親だからできること〜安心して子育てをするために〜」 をお話しいただきました。

先生自身の経験談や環境刺激による子どもの反応の変化の経験談をもとに、親にできることと第三者の関わりでできることの違い、子どものしつけの必要性や愛情のかけ方、母親と父親の役割の違いなどのお話がありました。うんうん、そうだそうだと共感できる部分や、はっと改めて気づかされる部分がとても多くありました。必死に子育てをする毎日の中では、客観的に自分の子育でに関して、また、子どもとの関わり方について、ひいては夫婦の会話の内容まで考えることはあまりないので、このような自分や家庭の在り方を振り返る機会はとても貴重で、よい時間でした。



10/フ 第39回 袖ケ浦市PTAソフトボール大会 **犬**

39回 PTAソフトボール大会が開催されました 10校の父母達が心を一つに白熱した試合を繰り広げました。

優勝 蔵波小 準優勝 昭和小 3位 根形小中

蔵波小キャプテン『朝から長い戦いの中、全員で声を出し、集中力を切らさずプレー出来た事が良い結果に繋がったと思います』





一 各キャプテンからのコメント 一

6月からメンバーと練習し、体力作りや技術面でも 皆さんと一緒に協力、励まし支え合いながら このプレイに参加出来た事が何よりも感謝申し上げます。













市PTA連絡協議会 研修委員会

研修心形一下県外現察研修



「進化と変化を感じる一日:国立科学博物館と横浜中華街」

11月14日(火)袖ケ浦市PTA連絡協議会主催の県外視察研修を開催し市内PTAより約40名が参加しました。今年度の視察場所は国立科学博物館と横浜中華街を訪問し、市P連テーマである、「進化と変化」をテーマにした素晴らしい体験が待っていました。

国立科学博物館では、生物の進化について学ぶことができ、 進化の過程を通じて私たちの生命の起源や多様性について 深く考えさせられる機会となりました。

その後、横浜中華街へ移動し 街の歴史や文化に触れることもできました。 中華街の建物や風景は、時代とともに変化して きた様子を感じさせてくれました。



この一日を通じて、「進化と変化の不思議さを改めて感じました。過去から現在までの変化や進化は、 私たちの生活にも影響を与えています。家族と一緒に過ごす時間は、互いの成長や変化を感じる 機会でもあります。ぜひ、家族や大切な人たちと一緒に、国立科学博物館の展示や横浜中華街の 美食を楽しんでみてはいかがでしょうかきっと、素晴らしい体験が待っています。 編集後記







みなさん、こんにちは! 令和5年度市P連広報委員長を務めました、蔵波小PTAの窪田と申します。

今年度の広報紙では市内PTA活動の紹介と共に市内外での活動状況をご報告して来ました。私自身初めてのPTA役員の中でここまで何とかやって来られたのも、市P連理事の皆さまを始め、広報委員の皆さんからの多大なご協力をいただきましたことを改めて感謝いたします。

今年度市P連テーマでもある「**変化と進化**」をもとに広報委員で取り組んだ2つについて、この場を借りてご紹介します。

①広報委員による現地取材を再開したこと

これまでコロナ禍のため、広報委員による現地取材を避けておりましたが、今年度より現地取材を再開し、広報委員がリアルに感じた思い写真等を掲載することを心掛けました。

②SNS (Instagram)への移行のための試作を行ったこと 現代は情報社会となり、情報の伝達手段も大きく変化しています。私たちの活動も、より多くの人々に届けるために広報手法の見直しを行っていく必要があります。そこで、SNS(ソーシャルメディア)を活用した広報について今年度担当者を設け取り組みを行ってきました。SNS活用については令和6年度での活動でも引き続き検討していきますが、「より多くの人々に私たちの活動や情報を発信できる媒体が何なのか」変化を恐れず進化していきたいと考えています。

最後になりましたが、読者の皆さまにも感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。 広報紙を読んでいただき、ご支援いただき、本当にありがとうございます。私たちは、 皆さまの声やフィードバックを大切にして、さらに充実した広報活動を展開して いきます。

今後も、私たちの活動にご注目いただき、応援いただければ幸いです。 引き続き、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました!





一試作一